

# Quilt

東京国際キルトフェスティバル実行委員会

## 『第17回東京国際キルトフェスティバルー布と針と糸の祭典ー』

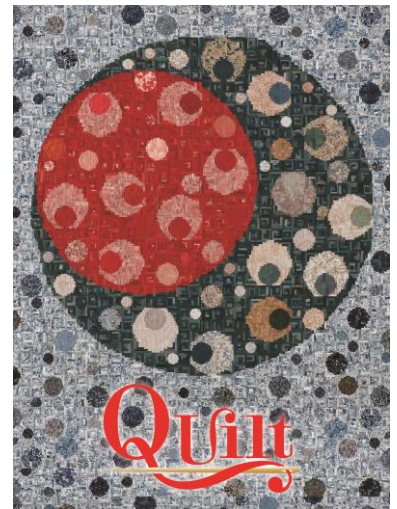
2018年1月25日(木)～31日(水)【7日間】

2018年1月25日(木)～31日(水)の7日間、東京ドームにおいて『第17回東京国際キルトフェスティバルー布と針と糸の祭典ー』を開催します。本フェスティバルは、キルトを愛する人々が集い、キルトの魅力を伝える世界でも最大規模のキルトの祭典です。

今年の特別企画は「四大作家がつづる若草物語」です。19世紀のアメリカを舞台に四姉妹の成長を描いた「若草物語」は、出版後、何度も映画化されるなど世界中で話題を呼びました。本展示では、日本を代表するキルト作家の鷲沢玲子さん、キャシー中島さん、小関鈴子さん、斉藤謠子さんの4人が「若草物語」の四姉妹をキルトで演出します。

また、絵本きると「エリック・カールの世界」では、「はらぺこあおむし」で知られるアメリカの絵本作家エリック・カールの世界を20人の若手キルト作家が額絵キルトにして展示します。

更に、著名人が自慢の手仕事を紹介するコーナー「私の手仕事スタイル」には、タレントのコロッケさんと山田邦子さんの制作した手芸作品を展示します。その他、日本最大級のキルトコンテスト『日本キルト大賞』では、国内外より応募のあった作品の中から入賞・入選作品約300点を展示します。



黒羽志寿子 作



コロッケ(タレント) 山田 邦子(タレント)

### 開催概要

■名称 : 第17回東京国際キルトフェスティバルー布と針と糸の祭典ー

[主催] 東京国際キルトフェスティバル実行委員会

(NHK・読売新聞社・東京国際キルトフェスティバル組織委員会)

[後援] 外務省、経済産業省、東京都、アメリカ合衆国大使館、NHK出版、NHK文化センター

[企画運営] NHKエデュケーショナル、NHKアート、(株)東京ドーム

■期間 : 2018年1月25日(木)～31日(水) [7日間]

9:30～18:00(入場は閉場の30分前まで)

※初日は11:00開場、最終日は17:30閉場

■会場 : 東京ドーム (東京都文京区後楽1-3-61)

[交通アクセス] JR中央線・総武線、都営三田線 水道橋駅 徒歩3分

東京メトロ丸ノ内線、南北線 後楽園駅 徒歩3分、都営大江戸線 春日駅 徒歩5分

■URL : <http://www.tokyo-dome.co.jp/quilt/>

■入場料金 : 前売券 1,900円 / 当日券 2,100円 ※小学生以下は無料。但し大人の付き添いが必要

■前売券発売 : 2017年10月19日(木)より

■チケット販売 : JR東日本の主なみどりの窓口、びゅうプラザ、セブンチケット、チケットぴあ、イープラス、ローソンチケット、JTBエンタメチケット、CNプレイガイド、チケットポート、楽天チケット、Confetti、PassMe!、ファミリーマート、ミニストップ、サークルK・サンクス、東京ドームシティ総合案内所、公式ホームページ 他

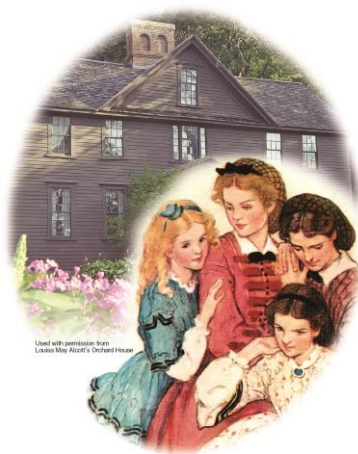
■総展示数 : 約1,800点

## 展示内容

### ◆特別企画「四大作家がつづる 若草物語」

19世紀のアメリカを舞台に四姉妹の成長を描いた「若草物語」は、1868年に出版されてから150周年を迎えました。これを記念して、日本を代表する四大作家が四姉妹の世界をキルトで表現します。長女の”メグ”を鷺沢玲子さん、男の子のように活発な”ジョー”をキャシー中島さん、物静かで寂しがり屋の”ベス”を小関鈴子さん、画家としての才能を開花させる末っ子の”エイミー”を齊藤謠子さんが担当します。

また、「わたしの若草物語」では、14人の作家が「若草物語」の思い出のシーンや四姉妹への思いをキルトでつづります。そして「若草物語」の原作者であるルイザ・メイ・オルコットの記念館、「オーチャード・ハウス」所蔵の貴重な手芸作品を展示します。記念館以外で展示されるのは初めてとなります。



鷺沢 玲子



キャシー 中島



小関 鈴子



齊藤 謠子



野沢典子 作  
「わたしの若草物語」

### ◆絵本きると「エリック・カールの世界」

「はらぺこあおむし」で知られ、「絵本の魔術師」とも評されるアメリカの絵本作家、エリック・カールの世界を、20人の若手作家が額絵キルトにして展示します。



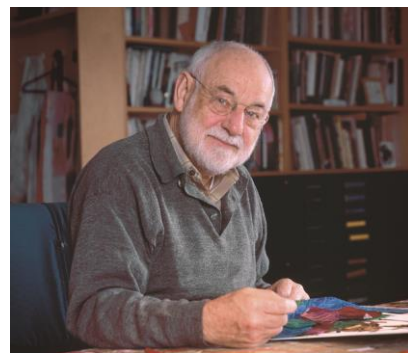
TM & © 2017 Eric Carle LLC.

『はらぺこあおむし』



TM & © 2017 Eric Carle LLC.

『パパ、お月さまとって!』



TM & © 2017 Eric Carle LLC.

エリック・カール



## ◆わたしの布遊び「森へ帰ろう」

命のエネルギーに満ちた森をテーマに、4人のキルト作家が思い思いの空間を演出します。立体的なキルトで作った妖精やジャングルのカメレオン、お菓子の家や森に棲む龍が登場するなど、楽しくて可愛いコーナーです。

五戸修美さんの「北欧 森の妖精トムテ」の他、阪本あかねさんの「マダガスカルの一晩」、焼田美紀さんの「ヘンゼルとグレーテル」、米山真由美さんの「深淵に潜む龍」を展示します。

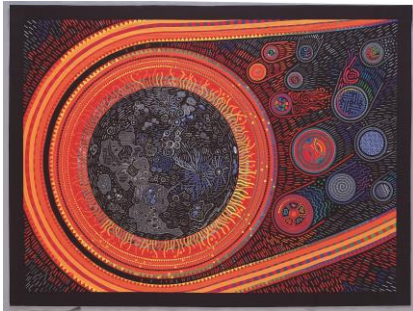


五戸修美「北欧 森の妖精トムテ」

## ◆中山富美子の全仕事「モラ礼賛」

モラ(リバース・アップリケ)の第一人者である中山富美子さんは、世界の少数民族が作る手芸作品の蒐集家でもあります。モラは、南米パナマに住むクナ族の手法で、原色の布を何枚も重ね、切り込みを入れて逆アップリケの手法で動物や自然を描いたものです。

中山さんが描く壮大な宇宙や原始のジャングルなど生命力あふれるモラの世界を紹介します。



中山 富美子

## ◆にっぽんキルト事始め「吉祥寺物語」

キルトブームの先駆けとなった吉祥寺の「キルトハウス耶馬(やま)」は2007年に惜しまれつつ閉店し、キルトファンの間では伝説のキルトショップとして語られています。2011年に亡くなった創業者の小野山タカ子さんは、アメリカからキルト地を輸入し、キルト作家を招聘するなど、日本のキルトの礎を築きました。

本コーナーでは、小野山さんが当時集めた1800年代のアンティークコレクションを展示するほか、「耶馬」で講師をした経験を持つキルト作家の黒羽志寿子さんや、現在、吉祥寺を拠点に活躍する手芸作家の下田直子さんの作品を展示します。



小野山 タカ子 アンティークコレクション



下田 直子 作

## ◆新作キルトの競演「私の中のにっぽん」

日本の第一線で活躍するキルト作家47人が、私たちの心の中にある日本の姿をキルトで表現します。



石飛 悦子 作

## ◆わたしの“手仕事”スタイル

タレントのコロッケさんと山田邦子さんが自分流にアレンジやカスタマイズした洋服や小物を展示します。



コロッケ



山田 邦子

## ◆ステージショー

1月27日(土)、28日(日) キャシー中島 ハワイアン・タヒチアン・ダンスショー

1月30日(火) 山田邦子 トークショー

## ◆コンテスト「日本キルト大賞」

プロ・アマ問わず国内外から幅広い層のキルターの応募作品が集まる「日本キルト大賞」。今回も前回同様6つの部門で行われます。応募総数1,263点(海外43点)の中から選ばれた入賞・入選作品300点近くが展示されます。(入賞・入選者は本フェスティバル初日に発表します。)

●部門 ①トラディショナル ②創作 ③和 ④額絵キルト ⑤バッグ ⑥ジュニア

●各賞 日本キルト大賞(1点)、準日本キルト大賞(1点)、ハンドメイキング賞(1点)

フレンドシップ賞(1点)、部門賞(各部門1位～3位)、審査員賞、優秀賞、企業賞、奨励賞

## ◆パートナーシップキルト「生命の木」

今回のパートナーシップキルトのテーマは「生命の木」。NHK「すてきにハンドメイド」で募集したキルトブログ9,141点を、キルト作家のこうの早苗さんのレイアウトで、大きな60枚のキルトにして展示します。

展示した作品は希望者にチャリティー抽選券(500円)を発行し抽選を行います。純益はNHK厚生文化事業団を通じて福祉活動に役立たせていただきます。



## ◆日本最大級のキルトマーケット

キルトに関するものなら何でも揃う、日本最大級のキルトマーケットです。約200店が出店します。

お客様からのお問い合わせ先

東京ドームシティわくわくダイヤル  
TEL. 03-5800-9999